

# 轍わだち

2012, 1, 11 NO28

今日は震災から十ヶ月。被災者は途方に暮れながら新年を迎え、深い絶望から立ち上るべき道を探し続けておられることでしょう。今回は、被災地の様子をお知らせしながら「何を成すべきか」考えたいと思います。

## 再び被災地を訪れて

8月に東北に行って以来4ヶ月が過ぎ、12月に2度目の東北遠征に参加しました。12月23日の夜中に京都を出発して、24日のクリスマスイブに被災者に「よさこいライブ」を披露して一緒にクリスマスをお祝いするためでした。翌日は甚大な被害を受けた、南三陸町を見て回りました。

はっきり言って、どこがきれいになっているのか分からないほど全く状況が変わっていませんでした。強いて言えば、防災センターの瓦礫がなくなってきれいに片づいていくくらいでした。

最近テレビでは「復興は進んでいます。」という言葉を見かけます。正直どこが進んでいるのか理解できないくらいです。私が見た現地ではクレーンが何台かありました。実際動いていたのは1台です。8月の時も1台のクレーンが動いていました。1台しかクレーンが動いていない状況では復興が進むはずがないと思いました。もし、この地震が大都市に起きていたら、きっと今頃には、ずいぶん復興が進んでいたのではないかと思います。もう少し、考えるべきところがあるように思えてしかたありません。

そして、まだまだ支援活動が必要だと改めて実感しました。

高校3年 Y・S

佐野さんが訪れた南三陸町は、町の70%が壊滅的被害を受けた地域です。私たちはこの地域の仮設住宅にお住まいの工藤さんからも暖房器具のお礼状をいただいています。工藤さんは「家も事務所も全て流され、着のみ着のまま逃げるのが精一杯でした。」とお便りに記されています。

## 被災者へ届く義捐金

12月はじめ、気仙沼市では義捐金の配分が決定されました。

震災時の全世帯26600世帯に1万円。その上で、被害状況に応じて上乗せ額が次のように決まったそうです。

住宅被害は、全壊・大規模半壊・半壊で金額が以下のように異なります。

単身世帯では2万円・1万5千円・1万円、2人～4人までは4万円

3万円・2万円、5人以上は6万円・4万5千円・3万円。

人的被害は死亡・行方不明は4万円。災害見舞金対象者2万円です。

気仙沼市の事業所は81%が被災しました。そのため離職者も数多くいます。僅かな義捐金では先行きが見えない被災者が多くいます。

**支援物資配布会**  
毛布・衣料品・マスクなどの生活用品が配布される年末の支援物資配布会。  
入場できるのは「1世帯2人まで」や、「事前に、はがきが届いた半壊以上の被災者対象」という条件付きなどもあります。まだまだ厳しい現実が見えてきます。

<裏面には、第3回目の支援物資のお礼状を掲載しました>

私たちからの手紙を添えて、支援物資は23日に被災地へ届けられました。今回もカシックス様にお世話頂きました。その時のお礼状を一部紹介します。

## 私たちから送った手紙

### 被災されたあなた様へ

京都の冬の到来は、比叡山から吹き下ろす「比叡おろし」と呼ばれる風と、雪化粧をした北山です。そちらは厳しい寒さを迎えておられるのでしょうか。どうぞ、風邪などお引きにならぬようにご自愛下さい。

さて、私たちは今日で2学期を終え、一息ついたところです。一昨日は本学院の伝統行事であるクリスマス・カンタータでした。大勢の方々がイエスキリストの生誕をお祝いする聖劇を観に来られました。そこでも、「東日本の被災者の方々への応援の気持ちを大切にしましょう。」という呼びかけを行いました。

被災から9ヶ月が経ち、新たな課題に直面しておられることでしょう。

私たちにできることは、ささやかな事です。

私たちができることは、あなたを、忘れないことです。

私たちにできることは、優しい気持ちを持つことです。

私たちにできることは、温かい人間として育つことです。

私たちにできることは、震災を通じて感じたこと、考えたことを心に刻むことです。

そのために…

あなたへお届けします。私たちからの気持ちを。

新しい年には、必ず良いことが訪れますようにと心よりお祈りしています。

2011年12月19日

## お礼状

この度は、皆様から、心温まる支援も頂き  
本当にありがとうございます。感謝の気持ちで  
いっぱいです。

私の家は、今回の津波で、跡形もなく全て流されて  
しまいました。思い出の写真一枚すら見つかりませんでした。  
それでも、家族が無事だっただけでも良かった  
と思っています。

慣れない生活で、思っても大変でしたので、皆様からの  
支援は、本当に助かります。大事に使わせて頂きます。

時々、震災前も思い出し、涙が流れてしまう事も  
ありますが、皆様からの心強い応援も胸に、  
がんばってインクと思っています。

皆様も、お体を大切にし、目標に向かって  
がんばって行って下さい。

活動も新めています。

岡山沼市

## 息の長い支援への募金が届いています。

カンタータ当日の募金活動では	38,477円
中学生徒会から	3,611円
チャプレン室のクリスマス献金より	25,000円
私学の教職員研修でのバンダナ売上金	18,500円

春に向けての支援物資を購入する資金とします。ありがとうございます。